

[001]九州人類学会報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/2230963>

出版情報 : 九州人類学会報. 1, 1973-10-31. Kyushu Anthropological Association
バージョン :
権利関係 :

創刊のことば

人類諸科学に関する研究は、戦後のわが国において、特に急速な発展を遂げてきたが、九州地区においても関係の諸研究者によって活発な研究活動が続けられてきている。

こうした気運のなかで昨年9月、九州地区を中心として文化人類学、形質人類学、社会学、宗教学、考古学、法民族学などの諸分野にわたる研究者を集め九州人類学研究会が組織された。会の目的は、人類学・民族学及び隣接諸科学の発展・普及を図ることであり、毎月1回の研究例会を開くことを主な事業としている。さいわい、研究会は発足以来、組織・運営の上で順調な発展を続けている。

こゝに創刊する「九州人類学」は、昨年9月以来、学年末の2月を除く6回の研究会における研究発表の要旨を収録した本会の会報である。9月発足のため、本号のみ半年分の研究報告をまとめた会報となったが、次回からは当然1年間の研究発表要旨が収録されてゆくこととなる。

さゝやかながらもこうした形で創刊号を刊行する運びとなったが、これがいさゝかでも人類学の発展に寄与することができるならば、私どもの深く喜びとするところである。はじめての会の運営、はじめての刊行であり欠点も多いことと思うが、会員諸氏の御批判を得て少しでもよい会報にしてゆきたいと考えている。御叱正と御協力を切にお願いしたい。

九州人類学研究会会長

綾 部 恒 雄